千葉ものづくり

千葉のものづくり製品・技術展示会2012

（10日－12日、千葉県市川市の県立現代産業科学館で開催）

県の久保商工労働部長（左から４人目）らによるテープカットで展示会が開幕

JR本八幡駅から線路に沿って歩くこと約15分。ショッピングセンターの裏に、千葉県民の知を支える空間がある。千葉県立現代産業科学館（市川市）で10日から3日間開催した「千葉のものづくり製品・技術展示会２０１２」の模様を紹介する。

展示会には「千葉ものづくり認定製品」に選ばれた製品をつくる中小企業や団体などが出展。2回目の開催となる今回の出展数は39の中小企業および団体と、前回より増加した。県の久保繁商工労働部長の「環境が厳しい中でも必死に頑張って県経済を支えてくれている中小企業を後押ししたい」との宣言で開幕。認定製品や自社の持つ技術を紹介するパネルが所狭しと並んだ。

さまざまな製品を展示

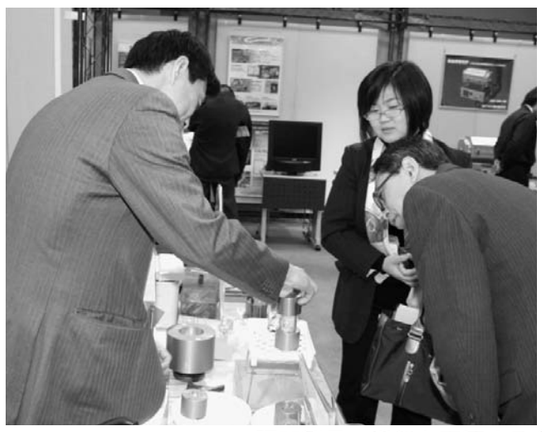
出展製品のジャンルは多岐にわたった。安西製作所（千葉市若葉区）は、農家向けの「米の色彩選別機」を展示した。白米を機内に通し、可視光のセンサーで事故米を発見。空気ではじき飛ばす。担当者は「県民に少しでも知ってもらえたら」と控えめだ。

医療関係では、河野製作所（市川市）は、毛細血管の縫合手術などに使う直径30ミクロン（マイクロは100万分の1）の微細針糸や、あご骨にはめたネジを中心にプレートとワイヤで歯列を矯正する器具を展示。

ニチオン（船橋市）は、医療ガスや電気を供給する天井懸垂型病室向けユニットを出展した。床上に散乱していたガスを供給するチューブや電気を供給するコードが消え、転倒の危険性を減らし、医師の業務環境の改善などに寄与する。

「ものづくり」と銘打つ通り、製造業向け製品も揃った。しのはらプレスサービス（船橋市）は前回と同様、プレス機械のサーボ化改造システムを出展した。篠原正幸専務は「知名度向上とともに、断片的だった県との付き合いの深化や、いろいろな業種に及ぶ出展者同士のつながりを発展させたい」と期待。

ニッサンキ（柏市）は、水などと樹脂メディアの混合物を吹き付けて、成型された製品の汚れやバリを除去する「アクアブラスター」を展示した。普段見慣れない機械に、親子連れや夫婦の来場者は興味津々だった。



認定製品の機能を実演する企業のブースには見学者の姿が絶えなかった（左大信製作所 右マーキュリーシステム）

製品の実演も見どころ

ブースを眺めていると「前回もいらっしゃいましたよね」と声をかけられた。見ると人なつっこい笑顔の男性。松戸市の大信製作所の近藤信昭氏だ。ブースでは認定を受けた氷成形機「アイスモールド」を湯せんで温め、氷をサッカーボール形に仕上げる。成形実演では驚きを隠さない来場者の姿が印象的だった。

同社のように機能を実演する企業が多く見られた。初出展となるガラスリソーシング（銚子市）は、リサイクルガラス造粒砂「サンドウェーブG」の水はけの良さを水槽を用いて実演。

モノベエンジニアリング（千葉市花見川区）は主力製品である「バネ式モノMAXフィルター」を展示。清浄機能と、液体を逆流させてバネで捉えた汚れを除去する再生機能をデモした。

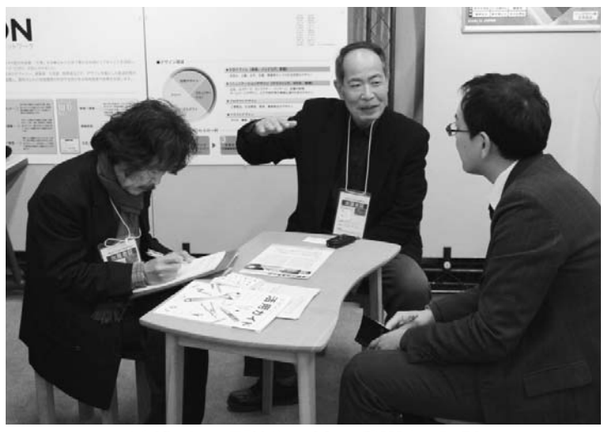
実演でこそ機能を理解しやすくなるのが、映像機器。ALBEDO（柏市）は、透明な空間に映像を投映するディスプレイを展示。現実空間にバーチャルな映像を配置する非日常的な演出に、来場者は不思議がっていた。

昨今話題になっている3次元（3D）テレビ。マーキュリーシステム（柏市）は、Z値という映像の遠近感を出す手法を1ピクセルごとに施し、平面的な映像を3D映像に変換する技術を、液晶テレビを用いて紹介。珍しさに、来場者の姿が絶えなかった。

業務用製品が多数を占める中、一般用製品も展示された。シューサン（白井市）は、捕虫機に加え、光触媒を用いた製品やウイルス対策スーツを展示し、小野寺修三社長は自ら光触媒マスクを着用してPR。ブースでは〝触媒製品の即売〟も実施していた。

モーター製造技術を応用した小型電動歯ブラシを出展した協和工業（船橋市）は、「大手メーカーの歯ブラシより動きが細かく、歯茎に優しい」とPRしていた。

会場には県のマスコットキャラクター「チーバくん」も駆けつけた



デザイン相談会では、千葉を拠点に活躍するデザイナーが相談に応じた

豊富なコンテンツ提供

展示会に並行して、中小企業向けのセミナーやデザイン相談会も実施した。セミナーは「今後のビジネスチャンスにつながる再生可能エネルギーについて」と題して、10日に開催。企業関係者や大学教授ら約30人を前に、新エネルギー・産業技術総合開発機構の研究者が、新エネルギーの概要や世界各地で進む新エネルギービジネスについて講演した。

デザイン相談会は、千葉県内に拠点を置くデザイナーの団体「ちばデザインネットワーク」が、展示会内のブースで随時開催。中小企業の経営者らが、団体所属のデザイナーと話し合う姿が見られた。副理事長の伊藤幹雄氏は「中小企業のためになるリソースをデザイナーは多く持っている。デザインを活用して、中小企業が抱える問題の解決に役立てられるとうれしい」と話した。

展示会初日には再生可能エネルギーに関するセミナーを開催

来場者の声

県民として誇り／隣人として企業を応援したい

3日間で約1500人が来場した「千葉のものづくり製品・技術展示会」。「県民に自社製品を知ってもらいたい」との思いを出展各社は抱いている。思いは、果たして来場者に届いているのか。聞いてみた。

◇　◇

市川市から来た5人家族の父親は「千葉県内の企業がいろいろな製品を作っていることを知ることができ、有意義だった。県民として誇りだ」と話した。船橋市に住む40代男性は「出展者のうちの1社は自宅の隣にあるが、展示会で初めて製品の存在を知り、より身近に思えた。隣人として企業活動を応援していきたい」とほほ笑んだ。「頑張る県内企業の姿を多くの県民に伝えたい」と、会を主催する千葉県産業技術室の高岡健二室長は開催直前に語った。室長の思いに応えるように、展示会はその役割を果たした。今後も県産工業製品のPRと販路開拓支援は続く。

頑張る県内企業の姿を伝えて県産工業製品ＰＲ

スライド式業務用ガラススクレーパー

ナルビー

http://www.nalbie.co.jp

ガラスなど鏡面部の表面に付いた汚れを除去する金属製の刃状器具。ブレードにはガラスを傷つけない硬度に熱処理したカーボン鋼を採用し、またスクレーパーに最適な刃角度に刃付研磨した。持ち手をスライドさせながら作業、刃の収納、刃の交換の3モードを選択できる。また刃先の角を丸くして、従来品より安全性や利便性を高めた。構成部品は3点のみでコストにも配慮した。グリーンとブラックの2色を用意。建物の保守、清掃業者や一般家庭に拡販していく。

（千葉県市川市湊17の8、047・357・6208）

バイオマスボトル（資源米シリーズ）

平和化学工業所

http://www.heiwakagaku.com

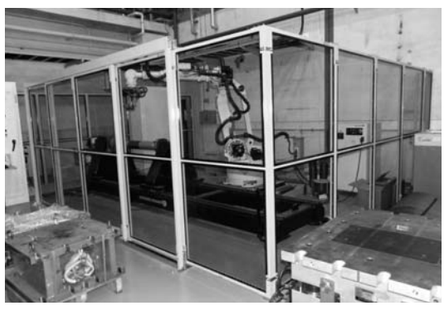
ボトルの原料となるバイオマスプラスチックは、資源米の粉と樹脂をコンパウンドして作られている。素焼きの陶器のような質感が特徴。3年前に開発に着手。多層成形技術を使って、バイオマス層の内側にポリエチレンの層をつくるなど3層構造としたことで耐薬品性を確保し、同時に水分や酸素の透過率を下げることに成功した。今後はバイオマス層に残る米のでんぷん質による臭いを抑制し、あらゆる用途に利用できる製品を目指す。ボトル全体での植物度は50％。

（市川営業所千葉県市川市原木1の5の12、047・328・3531）

産業用ロボット・自動機械用安全柵

メカニカ

http://www.mecanica.co.jp



「ロボットフェンス」は、産業用ロボットや自動機械の周囲に立て、安全な作業環境づくりに寄与。アンカー止めができる自立式で組立、移動が簡便。サイズが決まっていて、配置図設計の必要がない。扉は、片開き、観音開き、引き戸の3タイプから選べる。「見栄えがきれいだ」「簡単に設置できる」という反響もあり、製造工場や大学・研究所などに納入している。

（千葉県松戸市秋山759の1、047・701・7775）

マイクロサージャリー用超微細針糸

河野製作所

http://www.konoseisakusho.jp

顕微鏡を用いるマイクロサージャリー（微細手術）の新しい可能性を切り開く世界最小の超微細針糸。血管を貫通できる強度を持った新しいステンレス素材を採用。長年培った加工技術を駆使し、最小で直径30ミクロン、長さ0・8ミリメートルの糸付き針を実現した。これまで不可能とされていた0・5ミリメート未満の微細組織の外科手術に対応し、0・1ミリメートルの血管接合を可能にする。医療現場の技術的発展とともに活躍の場を広げ、手術の高度化や患者の身体的負担の低減に寄与している。

（千葉県市川市曽谷2の11の10、047・372・3281）

小径ビーズを用いた湿式粒子粉砕・分散機

アシザワ・ファインテック

http://www.ashizawa.com

「スターミル・ナノゲッター」シリーズは、原料を小さなビーズを使って粉砕・分散するビーズミル。100ナノメートル（ナノは10億分の1）以下の粒径まで細かくする。ビーズの動きを自在に制御して、さまざまな粘度の原料に対応。使用分野は化粧品から電子材料まで幅広い。粉砕室容量は最小100ccから運転可能。最大容量125リットルタイプでは、毎時最大1000リットルの原料が処理可能。現在約90台を納入。今後も顧客拡大に取り組む。

（千葉県習志野市茜浜1の4の2、047・453・8111）

プレス機械サーボ化改造システム

しのはらプレスサービス

http://www.shinohara-press.co.jp

既存のクランク式プレス機にサーボ機構を組み込むことでスライド運動の位置、速度などの任意制御を可能にし、最新鋭の電動式サーボプレス機に迫る性能を持たせる。複数の工程が必要なプレス加工を一工程で完了することもでき、工程の短縮や設備の有効利用につながる。特に絞り加工製品では、円筒部を増肉加工する新たな加工方法が可能。材料費削減や成形品の強度向上などのメリットがある。

サーボプレスは電力回生機能を持つため省エネ効果もある。

（千葉県船橋市潮見町34の2、047・433・7761）